

# みずほマーケット・トピック(2018年11月2日)

# 週末版

### 内容 1. 為替相場の動向

### 2. 来调の注目材料

- 3. 本日のトピック:ドル相場の近況に思うこと~ドル高の背景と今後の勘所~
- 1. 為替相場の動向(関連レポート: 「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)
- ・ 今週のドル/円相場は上値重く推移した。週初 10 月 29 日に 111 円台後半でオープンしたドル/円は週安値となる 111.78 円をつけたが、米 10 年国債利回りが 3.1%台を回復する動きを横目に 112 円台半ばまで上昇。しかし、「11 月に予定されている米中首脳会談で貿易面の対立を緩和できない場合に備え米国は追加の対中関税賦課を計画している」と伝わり米株が下げに転じると 112 円台前半まで反落した。30 日は日経平均株価の上昇に支えられたほか、トランプ米大統領が対中貿易交渉に対し「素晴らしい取引を見込む」と述べたことからリスク回避ムードが和らぎ 112 円台後半まで上伸。加えてユーロ圏 7~9 月 GDP が予想を下回ったことを受けたユーロ売りにドル/円は 113 円台前半まで続伸した。31 日は米株高と米金利上昇を手がかりにリスク先行ムードが強まったことや米 10 月 ADP 雇用統計が予想を上回ったことからドル買い優勢地合いになり週高値となる 113.38 円をつけた。11 月 1 日は米 10 月 ISM 製造業景気指数が予想を下回り 112 円台半ばまで下落し、本日のドル/円は 112 円台後半で推移している。
- ・ 今週のユーロ/ドル相場は下に往って来いの展開となった。週初 10 月 29 日に 1.13 台後半でオープンしたユーロ/ドルは、米大手格付会社がイタリアの格下げを見送ったことや欧州株の上昇にサポートされ 1.14 台前半まで値を上げたが、米 10 年債利回り上昇を背景としたドル買いや、メルケル独首相が 12 月の次期党首選に出馬しない旨を表明したことを受けて 1.13 台後半まで反落。しかし、このレベルでは買い意欲も強く 1.14 台を回復した。30 日はユーロ圏 7~9 月 GDP が予想を下回ったことからユーロが売られ、また米大手格付会社が「合意なきブレグジットリスクが英国の信用格付けに影響するほど高まった」と述べポンドが下落するとユーロ/ドルは 1.13 台前半まで連れ安となった。31 日は「ブレグジット交渉を巡りラーブ英 EU 離脱担当相が書簡で 11 月 21 日までに合意する可能性を示した」との報道が伝わりポンド相場が上昇。これに連れユーロ/ドルも一時 1.13 台半ばまで反発する場面も見られたが、すぐに押し戻され週安値となる 1.1302 をつけた。11 月 1 日は前日のブレグジットの報から合意への楽観が拡がりポンドが買われる中、ユーロにも買いが入り一時週高値となる 1.1424 まで急反発した。本日のユーロ/ドルは同水準で推移している。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末		今	週	
		10/26(Fri)	10/29(Mon)	10/30(Tue)	10/31(Wed)	11/1(Thu)
ドル/円	東京9:00	112.36	111.92	112.34	113.07	112.86
	High	112.44	112.56	113.15	113.38	113.00
	Low	111.38	111.78	112.31	112.81	112.61
	NY 17:00	111.89	112.38	113.13	112.96	112.68
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1375	1.1398	1.1376	1.1345	1.1315
	High	1.1421	1.1416	1.1387	1.1360	1.1424
	Low	1.1336	1.1361	1.1340	1.1302	1.1308
	NY 17:00	1.1405	1.1372	1.1342	1.1309	1.1409
ユーロ/円	東京9:00	127.82	127.58	127.75	128.26	127.71
	High	127.87	128.24	128.43	128.55	128.75
	Low	126.64	127.25	127.74	127.67	127.62
	NY 17:00	127.60	127.82	128.31	127.79	128.56
日経平均株化	西	21,184.60	21,149.80	21,457.29	21,920.46	21,687.65
TOPIX		1,596.01	1,589.56	1,611.46	1,646.12	1,632.05
NYダウ工業株30種平均		24,688.31	24,442.92	24,874.64	25,115.76	25,380.74
NASDAQ		7,167.21	7,050.29	7,161.65	7,305.90	7,434.06
日本10年債		0.11%	0.11%	0.12%	0.13%	0.12%
米国10年債		3.08%	3.08%	3.12%	3.14%	3.13%
原油価格(WTI)		67.59	67.04	66.18	65.31	63.69
金(NY)		1,233.13	1,229.39	1,222.87	1,214.76	1,233.46

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



### 2.来週の注目材料

- ・米国では、本日 2 日(金)に 10 月雇用統計が発表される。9 月の非農業部門雇用者数は前月比+13.4 万人 と、増加ペースが大きく減速したが、ハリケーン・フローレンスによる一時的な影響も指摘されている。集計来 の水準にある求人件数や、市場予想を上回る伸びをみせた 10月 ADP 統計を考慮すれば、雇用環境は引き 続き堅調とみられる。 10月の非農業部門雇用者数は前月比+20.0万人へと増加ペースが回復、 10月の失業 率は 1969 年以来の水準にまで低下した 9 月から横ばいの 3.7%が予測されている。また、自発的な離職率が 2001 年以来の水準にあり、賃金面でより良い条件を求める動きは強い。10 月の民間雇用者の平均時給の 伸びは、前年比+3.1%と、9月の同+2.8%から加速すると予測されている。4日(日)には冬時間に移行する。週 明け 6 日(火)には中間選挙の投開票日を迎える。各種世論調査を参考にする限り、下院では民主党が過 半数を獲得する見通し。上院については、どちらの党が過半数を獲得するか予断を許さない状況である。も っとも、今回の中間選挙の結果を受けて米国の政策が大きく変化する可能性は低い。中間選挙後に予想さ れる追加財政政策(インフラ投資や減税等)の内容に一部影響が出る程度だろう。厳しい対中姿勢は超党 派的な広がりをみせており、米中対立の構図にも大きな変化はないとみられる。民主党が下院を制した場合 の、大統領弾劾の可能性を指摘する向きはあるものの、上院の改選議席をすべて民主党が獲得したケース でも、弾劾採決に必要な上院で三分の二の議席を占めるには至らない。どのような選挙結果に至ろうと、市 場では「一大イベント通過」といった反応にとどまるとみられる。8日(木)に開催される FOMC についても、特 段の政策変更は予想されていない。もっとも、市場では年内の追加利上げの可能性が高いという見方が優 勢であり、12 月の FOMC における利上げの地ならしがどの程度行われるかは注目される。
- ・欧州では、5 日にユーロ圏財務相会合、6 日に EU 財務相会合が開催される。イタリアの予算問題と英国の EU 離脱交渉を巡るニュースフローの活発化が予想される。欧州委員会はイタリアに 2019 年度の予算計画 案の修正を求めており、その提出期限は 11 月 13 日である。英国の EU 離脱交渉については、最終合意の 期限は 12 月 13~14 日に開催予定の EU 首脳会議に先送りされたとみられるものの、11 月中の臨時首脳会議の可能性もあり、引き続き動向が注目される。

	本 邦	海外
11月2日(金)	·10 月マネタリーベース	·ユーロ圏 10 月製造業 PMI(確報値)
		·米9月貿易収支
		·米 10 月雇用統計
5日(月)	·日銀金融政策決定会合(9月)議事要旨	·米 10 月 ISM 非製造業指数
		・ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル)
		・米国がイラン制裁(原油禁輸措置)を発動
6日(火)	·9 月家計調査	・ユーロ圏 9 月生産者物価指数
		·EU 財務相理事会(ブリュッセル)
		·米9月求人件数
		·米中間選挙
7日(水)	·10 月外貨準備高	・ユーロ圏 9 月小売売上高
	·9 月毎月勤労統計	・ユーロ圏 10 月消費者物価指数(速報値)
	·9 月景気動向指数(速報)	· 米 FOMC (~8日)
8日(木)	·9 月機械受注	·ECB 経済報告
	·9 月国際収支	・欧州委員会の経済見通し
	·10 月貸出·預金動向	
	・10 月景気ウォッチャー調査	
9日(金)	·10 月マネーストック	·米 10 月生産者物価指数
		・米ミシガン大学消費者マインド(速報値)
		·クオールズ FRB 理事講演

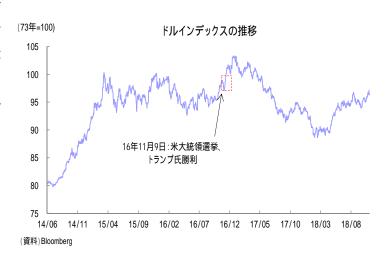
### 【当面の主要行事日程(2018年11月~)】

米 FOMC(11 月 7~8 日、12 月 18~19 日、1 月 29~30 日) ECB 政策理事会(12 月 13 日、1 月 24 日、3 月 7 日) 日銀金融政策決定会合(12 月 19~20 日、1 月 22~23 日、3 月 14~15 日) 20 か国・地域(G20)首脳会議(11 月 30 日~12 月 1 日) EU 首脳会議(12 月 13~14 日)

## 3.ドル相場の近況に思うこと~ドル高の背景と今後の勘所~

### 2014年半ばからのドル高局面が存続中

昨日の為替相場では英国の EU 離脱(ブレグジット)交渉進展が期待される中でポンド相場が急騰する一方、ドル相場が急落する動きが見られている。とはいえ、10月中旬以降、ほぼ調整することなくドル相場が続伸してきたことを思えば調整の域を出るものではないだろう。ドルインデックスは 2014 年半ばから上昇局面に入り、2016年末までに約+30%も値を上げた。その後、2017年から約1年をかけて約▲14%の調整を経たものの、今年に入り約+8%の



上昇となっている。俯瞰すれば、**2014** 年半ばから続いている一方的なドル高局面は **2017** 年を機に収束が始まったかと思いきや、今年再び息を吹き返したという評価になる。本欄でも繰り返し述べている点だが、こうした動きの大前提は **FRB** の想定を上回る改善を示している米労働市場の存在であり、<u>米国の為政者にとっては「嬉しい誤算」の結果</u>である。

### ドル高を支えた元安

しかし、為替市場は常に「相手のある話」である。 ドルが騰勢を強めている裏では何らかの通貨が相応 の売りに直面しているはずである。そこで国際決済 銀行 (BIS) 公表の名目実効為替相場 (NEER) に関 し、ドルの年初来変化率およびこれを構成する通貨 の寄与度を見たものが表である。今年 9 月末までの 間にドル NEER は+6.6%上昇した。このうち北米自 由貿易交渉 (NAFTA) 交渉で首尾よくトランプ政権 と手打ちを演出することのできたメキシコペソを除 く全ての通貨が対ドルで下落している(そのメキシ コペソも10月の急落を経て今や下落通貨の仲間入り をしているが)。 <u>あくまで NEER の寄与度を計算す</u> る上では円や韓国ウォン、台湾ドルといった対米貿 易黒字の大きい通貨よりも、トルコリラやアルゼン チンペソといった今年大暴落した通貨の方がドル相

18年1月~9月のドルのNEER変化率と寄与度

国名	シェア	18年1~9月 のドル vs. 各 通貨(%)	寄与度(%pts)
中国	21.7	-5.3	1.1
ユーロ圏	16.6	-3.3	0.6
カナダ	12.9	-2.6	0.3
メキシコ	12.5	5.0	-0.6
日本	8.0	-0.9	0.1
韓国	3.6	-3.5	0.1
台湾	2.2	-2.4	0.1
スイス	1.5	-0.8	0.0
英国	3.1	-3.6	0.1
ロシア	0.6	-12.1	0.1
南アフリカ	0.5	-12.4	0.1
トルコ	0.5	-37.3	0.2
アルゼンチン	0.3	-55.0	0.2
その他(残差)	16.0	-	4.3
18年1~9月の NEER	-	6.6	6.6

(資料) BIS、Bloomberg. NEERはBroadベース。 通貨変化率は17年12月29日~18年9月28日

場の押し上げに効いていた計算になる。また、人民元は単体で+1.1%ポイントのプラス寄与を果たしており、トランプ政権がはっきりと元安に苦情を申し立てている現状と平仄が合う。今年に入ってからのドル高の背景に FRB の引き締めプロセスが順調に歩を進めているという事実は当然あるが、それがもたらした新興国通貨の急落や、恐らくは米中貿易戦争を受けた中国による元安誘導も寄与していた面があった

と考えるべきだろう。人民元に関していえば、とりわけ6月以降はその傾向が強まった印象である。

#### 気にせざるを得ない財政赤字拡大

変動為替相場制移行後、大幅なドル高局面は今回を含めて3回あった。1回目(表中①)は1978年10月に始まり1985年3月まで続いたもので、この間にはカーター政権のドル防衛やボルカー元FRB議長による連続利上げが行われ未曾有のドル高が演出されたが、プラ

### 過去の大幅なドル高局面とのラフな比較

	上昇率 (A、%)	年数 (B)	年間上昇ペース (A÷B、%pts)
1978年10月~1985年3月	34	6.4	5.3
1995年8月~2002年4月	24	6.7	3.5
2014年6月~現在	19	4.3	4.5

(資料) FRB、スタート年の12月と終了年の12月に関し、broadベースのREERを比較。 は2018年9月末まででとした。

ザ合意によって半ば強制的に幕を閉じることになった。当時はイラン革命、ソ連のアフガン侵攻などを受けて「有事のドル買い」も効いていたと解説されることが多い。2回目(表中②)は1995年8月に始まり2002年4月まで続いたもので、ルービン元米財務長官による「強いドルは国益」との発言で知られる局面である。この間、米国では財政赤字削減と共に長期金利も安定する中で経済が安定的な成長を遂げており、この局面で記録した120か月間という景気拡大を来年更新できるかどうかが目下注目されている。ちなみにこの時代では1998年に財政収支の黒字化が実現し、IT革命による生産性上昇も取り沙汰された。①も②もドルが上昇するにあたって合理的な理由のあった時代と言える。

今次ドル高局面も「ドルだけが金利の付く主要通貨」という止むを得ない状況があり、「運用戦略上、ドルを選ばざるを得ない」という事情が認められることから、その意味で合理的な理由があると言える。しかし、周知の通り、トランプ政権下で財政赤字は拡大基調にあり、米議会予算局(CBO)の予測によれば3年後の2021年にはGDP比で▲4.6%、5年後の2023年には▲5.4%の大台に乗る予想となっている。プラザ合意以降の



約30年余り、ドル相場は基本的に財政赤字の拡大・縮小と軌を一にしてきたことは、なぜか最近の為替相場で議論されることが少ないように思える (図)。今後5年にわたって財政赤字が拡大するであろうことや、FRB の利上げに対して既に株式市場が動揺し始めていること、失業率が4%を割り込む水準まで低下してきていることなどと合わせ見れば、やはりドル相場のアップサイドに賭けるような見通しは危ういというのが引き続き筆者の基本認識である。

国際為替部 チーフマーケット・エコノミスト 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065) daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

経済指標カレンダー(2018年11月)					
A	у	*	大 1 日本 自動車販売台数(10月) 米国 建設支出(9月) 米国 ISM製造業景気指数(10月)	金    日本 マネタリーベース(10月)   ユーロ圏 製造業界所(値報、10月)   米国 東月級ト(10月)   米国 屋用統計(10月)   米国 麻(10月)   米国 新於財受注(確報、9月)   米国 製造業受注(確報、9月)	週末
5	6     ドイツ 製造業受注(9月)     ユーロ圏 サービス業PMI(確報、10月)     ユーロ圏 財務相会合(ブリュッセル)	7 日本 毎月勤労統計(9月) 日本 景気動向指数(連報,9月) ドイツ 鉱工業生産(9月) 米国 消費者信用残高(9月) 米国 FOMC(~8日)	8 日本 国際収支(9月) 日本 賞出・預金動向(10月) 日本 賞出・預金動向(10月) 日本 景気ウォッチャー調査(10月) ドイツ 貿易収支(9月)	9 日本 マネーストック(10月) 米国 生産者物価(10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(連報、11月) 米国 部売売上高(9月)	
12 日本 国内企業物価(10月)	13 ドイツ 消費者物価(確報、10月) 米国 財政収支(10月)	14 日本 GDP(連報、7~9月期) 日本 第三次産業活動指数(9月) 日本 鉱工業生産(確報。9月) ドイツ GDP(連報、7~9月期) ユーロ圏 鉱工業生産(9月) ユーロ圏 GDP(連報、7~9月期) 米国 消費者物価(10月)	15     ユーロ圏 貿易収支(9月)     米国    小売売上高(10月)     米国    スーローク連級製造業景気指数(11月)     米国    フィラデルフィア連銀製造業景気指数(11月)     米国    企業在庫(9月)	16 ユーロ圏 消費者物価指数(確報、10月) ユーロ圏 財務相会会(プリュッセル) 米国 鉱工業生産(10月)	17 米国 TICレポート(対外対内証券投資)(9月) EU臨時首脳会談(~18日) (予定)
19 日本 貿易収支(10月)	<b>20</b>	21 米国 耐久財受注(連報、10月) 米国 製造業受注(連報、10月) 米国 景気先行指数(10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、11月) 米国 中古住宅販売(10月)	22 日本 全国消費者物価(10月)	23 日本 助労感謝の日 ドイツ GDP(確報、7~9月期) ユーロ圏 製造業PM(連報、11月) ユーロ圏 サービス業PM(連報、11月)	
26 日本 景気動向指数(確報、9月) ドイツ IFO企業景況指数(11月) 米国 シカゴ連鎖全米活動指数(10月)	27 日本 企業向けサービス価格(10月) 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格(9月) 米国 消費者信頼感指数(11月)	28 米国 GDP(2次連報、7~9月期) 米国 個人消費(2次連報、7~9月期) 米国 PCEコアデフレーター(2次連報、7~9月期) 米国 新築住宅販売(10月)	29 ドイツ 消費者物価(速報、11月) 米国 個人消費・所得(10月) 米国 FOMC議事要旨(11月7~8日開催分)	30 日本 失業率(10月) 日本 東京都区部消費者物価(11月) 日本 東京都区部消費者物価(11月) 日本 新設性主常工(10月) ユーロ圏 失業率(10月) ユーロ圏 消費者物価指数(速報、11月) シーロ圏 消費者物価指数(速報、11月) ブエノスアイレス(アルゼンチン) G20首脳会議(~12月1日)	

<sup>(</sup>注)\*を付したものは公表予定が未定であることを示す。 (資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー(2018年12日)

経済指標カレンダー(2018年12月)	火		木	<b>*</b>	週末
3 日本 自動車販売台数(11月) ユーロ圏 製造業FMI(確報、11月) 米国 建設支出(10月) 米国 ISM製造業景気指数(11月)	4 日本 マネタリーベース(11月) ユーロ圏 財務相会合(ブリュッセル)	5 ユーロ圏 サービス業PMI(確報、11月) 米国 ADP雇用統計(11月) 米国 ベージュブック	6 ドイツ 製造業受注(10月) 米国 貿易収支(10月) 米国 耐久財受注(確報、10月) 米国 製造業受注(確報、10月)	7 日本 毎月勤労統計(10月) 日本 最気動向指数(速報、10月) ドイツ 鉱工業生産(10月) ユーロ圏 GDP(強報、7~9月期) 米国 雇用統計(11月) 米国 失業率(11月) 米国 シガン大学消費者マインド(速報、12月) 米国 卸売売上高(10月) 米国 消費者信用残高(10月)	
10 日本 GDP(確報、7~9月期) 日本 国際収支(10月) 日本 貸出・預金動向(11月) 日本 景気ウォッチャー調査(11月) ドイツ 貿易収支(10月)	11 日本 マネーストック(11月) 米国 生産者物価(11月)	12 日本 国内企業物価(11月) 日本 第三次産業活動指数(10月) ユーロ圏 鉱工業生産(10月) 米国 消費者物価(11月) 米国 財政収支(11月)	ドイツ 消費者物価(確報、11月) ユーロ圏 ECB理事会(フランクフルト)	14 日本 日銀短報(10~12月期) 日本 鉱工業生産(確報、10月) 米国 小売売上高(11月) 米国 企業在庫(11月)	
17 ユーロ圏 貿易収支(10月) ユーロ圏 消費者物価指数(確報、11月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(12月)	18   米国   TICレポート(対外対内証券投資)(10月) ドイツ   IFO企業景況指数(12月)   米国   住宅着工(11月)   米国   FOMO(~19日)	日本 貿易収支(11月) 日本 金融政策決定会合(~20日) 米国 中古住宅販売(11月)	米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(12月) 米国 景気先行指数(11月)	米国 個人消費・所得(11月) 米国 GDP(3次連報、7~9月期) 米国 個人消費(3次連報、7~9月期) 米国 所入財受法(2種報、11月) 米国 製造業受法(連報、11月) 米国 ジガン大学消費者マインド(値報、12月)	
24 日本 振替休日 米国 シカゴ連銀全米活動指数(11月)	25 日本 企業向けサービス価格(11月) 日本 景気動向指数(確報、10月)	26 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格(10月)	27 日本 新設住宅着工(11月) 米国 新発住宅販売(11月) 米国 消費者信頼感指数(12月)	28 日本 失業率(11月) 日本 東京都区部消費者物価(12月) 日本 鉱工業生産(速報、11月) ドイツ 消費者物価(速報、12月)	
31 日本 大晦日 米国 シカゴ購買部協会景気指数(12月)					

<sup>(</sup>注)\*を付したものは公表予定が未定であることを示す。 (資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

### 1997		!の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です .co.jp/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html
2016年の月2日		過去6か月のタイトル
200年年10月2日   201年年10月2日   201年年10月2日   201年年10月2日   201年年10月2日   201年年10月2日   201年年10月2日   201年年10月2日   201年年10月2日   201年年10月1日   201年年10月2日   2		
2008年0月32日 (2008年8年本アルビュー・一角投資方向のアケー 2008年0月32日 本部を人が世界のプロ・日本では、1008年0月32日 本部を人が世界のプロ・日本では、1008年0月32日 本部を人が世界のプロ・日本では、1008年0月32日 本部を人が世界のプロ・日本では、1008年0月32日 本部を人が世界のプロ・日本では、1008年0月32日 本部を人が世界のプロ・日本では、1008年0月32日 本部を人が世界のプロ・日本では、1008年0月32日 本部を人が世界のプロ・日本では、1008年0月31日 フレジシェルを記述が、1008年0月31日 フレジシェルを記述が、1008年0月31日 フレジシェルを記述が、1008年0月31日 フレジシェルを記述が、1008年0月31日 フレジシェルを記述が、1008年0月31日 フレジシェルを記述が、1008年0月31日 フレジシェルを記述が、1008年0月31日 フレジシェルを記述が、1008年0月31日 フレジシェルの日本では、1008年0月31日 アン・フリン・フリン・フリン・フリン・フリン・フリン・フリン・フリン・フリン・フリ		
2001年10月12日   安安夏を上ての円代いが別いてからい面目		
2010年19月19日   上野鱼人民学家の対手発音・フロー 動物(2010年9月19日		
2011年19月1日		
2004年10月11日 フレアジャドを含む成変態を登録を 2004年10月12日	2018年10月19日	
2019年19月1日 ユーロリ語・資本フローの設定 2019年10月1日 ユーロリ語・資本フローの設定 2019年10月1日 コーロリ語・資本フローの設定 2019年10月1日 コーロリ語・資本フローの設定 2019年10月1日 コーロリ語・日本の大学・アンター・アンター・アンター・アンター・アンター・アンター・アンター・アンター	2018年10月18日	為替政策報告書を受けて~抜きん出た中国の取り扱い~
2015年10月15日   海豚条果素の合物に満り方で血管計を開止して限量で 2016年10月16日   元ーフェルドの大きな関係を対している。 2016年10月17日   元ーフェルドの大きな関係を対している。 2016年10月17日   元ーフェルドの大きな関係を対している。 2016年10月17日   元ーフェルドの金属性 まましい。円上来の関係 2016年10月18日   元ーフェルドの金属性 まましい。円上来の関係 2016年10月18日   元ーフェルドの金属性 まましい。円上来の関係 2016年10月18日   元ーフェルドの金属性 まましい。円上来の関係 2016年10月18日   元ーフェルドの金属性 まましい。日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日		
2016年10月11日		
2005年19月1日		
2009年10月10日		
2016年10月8日		
2018年10月2日 ドイツは下きた一日際・水のかられる正し、同様技術で 2018年10月2日		
2018年10月3日 / グリア東部の登場・会談にかいまた。	2018年10月5日	
2018年10月1日		
2018年9月21日		
2018年9月21日 アハルの音楽えて・見えてきた整造点		
2018年9月27日   FOMOを終えて一見えてきた任義皇 2018年9月27日   選求版		
2018年9月2日		
2018年9月19日 安市福川による城市際遺産言へ書うけ良しいだが~		
本際は「製造性のであった。	2018年9月21日	
2018年9月19日	2018年9月20日	
2018年9月18日		
2018年9月18日		
2018年9月19日		
2018年9月12日		
2019年9月19日 リーマン10年で1日目から次のションの17 詳」 2019年9月19日 過度後(17 次の機能日本人の大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大		
2016年9月6日 散化を載けるソアトデータ・皮肉がな雑葉の野類~ 2016年9月4日 基金賞で『野遊」が経り理かへ顕著では「中の一で「マークーで「マークーで「マークーで「タークーで「アー		リーマン10年で注目される次のショックの「芽」
2019年9月3日		
2018年9月31日		
2018年8月32日		
2019年9月31日 漫本版 2019年9月28日 米国株地)勝ちをどう終むか?〜BISピューに基づく即動へ〜 2019年9月28日 大月20日 大月2		
2019年9月29日 米国株担州等をどう結合か? ~ 818년 ユーに基づく抑制へ~ 2019年9月27日 日の総裁が欧州委員長か ~ メルンルル性音相の変心~ 2019年9月27日		
2019年8月27日   COB総裁の使州委員長のペメルケル独首相の変もペ 2019年8月19日   法東版(1918年上昇の対土東方)   2019年8月19日   3年版(1918年上月の)   2019年8月19日   3年版(1918年上月の)   2019年8月19日   3年版(1918年上月の)   2019年8月19日   2		
2019年8月21日	2018年8月28日	
2019年8月20日 末井穏人投資家の対対者金フロー動向(2018年7月) 2019年8月15日 / 4)97国債利回りの意味・もう1つの治在的危場や 2019年8月15日 / 4)97国債利回りの意味・もう1つの治在的危場や 2019年8月15日 / 4)97国債利回りの意味・もう1つの治在的危場や 2019年8月15日 / 4)97国債利回りの意味・もう1つの治在的危場や 2019年8月15日 / 4)カーンコックの真の脅威は「欧州健康危機」の再燃 2019年8月15日 / 4)カーンコックの真の脅威は「欧州健康危機」の再燃 2019年8月15日 / 4)カーンコックの真の脅威は「欧州健康危機」の再燃 2019年8月15日 / 4)の第2年1月 / 40日の米国債売加はあり得るのか? 2019年8月17日 中国の米国債売加はあり得るのか? 2019年8月17日 中国の米国債売加はあり得るのか? 2019年8月17日   40日の米国債売加はあり得るのか? 2019年8月17日   40日の米国債売加はあり得るのか? 2019年8月17日   1回金融放政法定会会を終えて一会ルーボールを予定・ 2019年8月17日   1回金融放政法定会会を終えて一会ルーボールを申して・ 2019年8月17日   1回金融放政法定会会を終えて一会を利がイゲンスの正し続み方〜 2019年7月27日   3東版(1618年7日・17・アール・フェール・リール・リール・リール・リール・リール・リール・リール・リール・リール・リ		
2018年8月17日 選来版(2019年上半期の対米資本フローの整理や色雑せる「カネ奈り」、「ゴルディロックス」〜) 2018年8月14日 第二次資本流出局面が始まったのか? 2018年8月19日 記来版 2018年8月19日 記来版 2018年8月19日 2018年8月19日 2018年8月19日 2018年8月19日 2018年8月19日 2018年8月19日 2018年8月19日 2018年8月19日 2018年8月1日 日報金融政策決定金含を終えてペントンまでもチャンスは無い~ 2018年8月1日 日報金融政策決定金含を終えてペントンまでもチャンスは無い~ 2018年8月2日 日報定を経験と日来夏を構みとなる利がイケンスの正しい読み方~)2018年7月2日 日報定を経験と日来夏を構えている。利力イケンスの正しい読み方~)2018年7月2日 日報定を経験と日来夏を構造(平下の関係を 2018年7月2日 日報定を経験と日来夏を構造を使から、1018年8月2日 日報では表が上の上の記録を 2018年7月3日 日報定を経験と日来夏を構造をはいからいまた。第二年8日2日 日報ではを持たり、2018年7月1日 元のい電車の記記」と「反応の関係を与している。2018年7月1日 元のい電車の記記」と「反応の対策と関係を 2018年7月1日 黒本版(第明国市権の混乱」と「反応の力・リア」へ楽画のウンジットスプレッドは着実に拡大中~)2018年7月1日 2018年7月1日 黒本版(第明国市権の混乱」と「反応の力・アルーを達している。1018年7月1日 2018年7月1日 日本をしからいたの計画をできたが日本の主に関係としている。2018年7月1日 2018年7月1日 2018年7月1日 日本をしからいたの計画をできたが日本の主に関係としている。2018年7月1日 2018年7月1日 日本版 2018年		
2018年9月15日		
2018年8月14日 第二次第一次   第二次第一次   第二次第一次   第二次第一次   第二次第一次   第二次第一次   第二次第一次   第二次   第二		
2018年8月13日   ルレンミックの真の脅威は「欧州韓民危機」の再燃   2018年8月9日		
2018年3月9日	2018年8月13日	
2018年8月8日 2018年8月8日 2018年8月7日 中国の大型債売加はおり得るのか? 2018年8月6日 ソフトデータが備示する世界経済失連 2018年8月7日 日の任を終えて、満々と大一パーキルを予想~ 2018年8月7日 日の任を終えて、満々と大一パーキルを予想~ 2018年8月7日 日の任を終えて、満々と大一パーキルを予想~ 2018年9月1日 日銀金融政策決定金合を終えて、一次・1とを予想~ 2018年7月3日		
2018年8月7日 中国の米国債売却はおり得るのか? 2018年8月3日 ファーケッ物第テネを世界経済夫達 2018年8月3日 ファーケッが第テネを世界経済夫達 2018年8月3日 ファーケッが第テネを世界経済夫達 2018年8月3日 日 監施政策決定金を終えてへいまって・ボールを予想。 2018年7月30日 ファーケッが第テネを参えてへいまって・ボールを予想。 2018年7月30日 メインシナリオへのリスク点様へいよいよ! 伝家の室刀]? ファークの18年7月20日 司家に(CBの策理事会を終えてへいまつま) 「アルフリスク点様へいよいよ! 伝家の室刀]? ファークの18年7月20日 司家に(CBの策理事会を終えてへの3月7イダンスの正しい読み方へ) 2018年7月20日 司家に(プレートモアレーションに再来経り時で(接険の売り」は長心の表れ~) 2018年7月19日		
2018年8月6日 ソフトデータが暗示する世界経済失選 2018年8月3日		
2018年8月3日		
2018年8月2日		
2018年7月30日 メインシナリオへのリスク点検〜いよいよ「医家の宝刀」?~ 2018年7月26日 日銀正常化観測と日米貿易協議 (FFR) の関係性 2018年7月26日 日銀正常化観測と日米貿易協議 (FFR) の関係性 2018年7月19日 危い「理由なきドル・アルーリーストール・アルーリーストール・アルーリーストール・アルールール・アルールール・アルールール・アルールール・アルールール・アルールールールー		
2018年7月27日   選末版(ECB政策理事金を終えて〜金利ガイダンスの正しい読み方〜)	2018年8月1日	日銀金融政策決定会合を終えて~いつまでもチャンスは無い~
2018年7月20日   周東版「グレートモデレーション」再来を疑う時~「保険の売り」は慢心の表れ~)   2018年7月19日   危うい理由なきドル/円上昇」・金利・物価情勢は支持せず~ 本邦側人投資家の対外資金フロ一動向(2018年8月分)   2018年7月13日   選事版「新典学歴念と参替市場の現状~部市場に乗ぎた~   2018年7月13日   選末版「新興国市場の混乱」と「炭鉱のカナリア」~米国のクレジットスプレッドは着実に拡大中~)   2018年7月13日   選末版「新興国市場の混乱」と「炭鉱のカナリア」~米国のクレジットスプレッドは着実に拡大中~)   2018年7月19日   法金字数のきた英国のEU機関プロセス~論点を理~   2018年7月19日   選末版   2018年7月19日   2018年6月19日   次数数(2018年8月19日   2018年6月19日   2018年6月19日   本数数(2018年8月19日   2018年6月19日   2018年6月1日   20		メインシナリオへのリスク点検~いよいよ「伝家の宝刀」?~
2018年7月20日 週末版[「グレートモデレーション」再来を疑う時~「保険の売りは慢心の表れ~) 2018年7月19日 危うい「理由なきドル/円上昇」へ金利・物価情勢は支持せず~ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年6月分) 2018年7月13日 貿易戦争懸念と為替市場の現状~一部市場に異変も~ 2018年7月13日 週末版[「新興国市場の混乱」と「炭鉱のカナリア」~米国のクレジットスブレッドは着実に拡大中~) ドイツ住宅市場の現状と展望~見過ごされる「バブルの芽~ 2018年7月10日 湿迷を深めてきた。英国のじ難股プロセス~論点整理~ 2018年7月6日 週末版 「新興国市場の提出」を表現のできた。英国のじ地離股プロセス~論点整理~ 2018年7月6日 週末版 2018年7月6日 週末版 2018年7月4日 EUが迎える新たな機・債務危機から難民危機へ 2018年7月4日 米中貿易摩擦の読み方~「返り血」は避けたい米国~ 2018年7月2日 メーシンナリオへのリスク点検~再び先鋭化した保護主義~ 2018年7月2日 メインシナリオへのリスク点検~再び先鋭化した保護主義~ 2018年6月29日 週末版 2018年6月29日 メーシン・メダ 英首相~EU離脱法案の成立~ 2018年6月21日 ユーロ側送通予算を阻むメルケル政権の危機 2018年6月21日 ユーロの機遇の「の警告~米国とイダリアの挟撃~ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年5月分) 2018年6月11日 コーロを提20」のの警告~米国とイダリアの挟撃~ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年5月分) 2018年6月11日 フロの後を発して、「後ろめたさ」を抱きつの運営に~ 2018年6月11日 FOMOを接名で、「後ろめたさ」を抱きつつの運営に~ 2018年6月11日 「のMOを表えて~「後ろめたさ」を抱きつつの運営に~ 2018年6月11日 「のMOを表えて~「後ろめたさ」を抱きつの運営に~ 2018年6月11日 「のMOを表えて~「後ろめたさ」を抱きつの連鑑し~ 2018年6月1日 東新版(FOB)交換者の受け入れ拡大について~成長を望むなら~) 2018年6月1日 主要な景気先行指揮の現状~世界経済の失速は露わに~ 2018年6月5日 主要な景気先行指揮の現状~世界経済の失速は露わに~ 2018年6月5日 生要な景気先行指揮の現状~世界経済の失速は露わに~ 2018年6月5日 イラリア危機はようにのか?~このままでは済まず~ 2018年6月5日 料明になった「G6+1」の構図 2018年6月5日 料明になった「G6+1」の構図 2018年6月1日 鮮明になった「G6+1」の構図 2018年6月1日 鮮明になった「G6+1」の構図 2018年6月1日 鮮明になった「G6+1」の構図 2018年6月1日 単新になった「G6+1」の構図		
2018年7月19日 危ろい「理由なきドル/円上昇」〜金利・物価情勢は支持せず〜 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年6月分) 2018年7月13日 週末版「新興国市場の混乱」に成鉱のカナリア」〜米国のクレジットスプレッドは着実に拡大中〜) 2018年7月13日 週末版「新興国市場の混乱」に成鉱のカナリア」〜米国のクレジットスプレッドは着実に拡大中〜) 2018年7月19日 週末版「担当院プロセス〜論点整理〜 2018年7月19日 米中開戦の時〜欧州も巻き込み貿易大戦の様相か?〜 2018年7月6日 週末版 2018年7月5日 にの各を待ち受ける険路〜「試験の秋」〜 2018年7月5日 にの各を待ち受ける険路〜「試験の秋」〜 2018年7月7日 にいが迎える新たな危機〜債務危機から設民危機へ 2018年7月7日 にいが迎える新たな危機〜債務危機から設民危機へ 2018年7月7日 といが迎える新たな危機〜債務危機から設民危機へ 2018年7月7日 担が迎える新たな危機〜債務危機から設民危機へ 2018年7月7日 担が迎える新たな危機〜債務危機から設民危機へ 2018年6月71日 刈・米中貿易摩擦の読み方〜「返り加」は避けたい米国〜 2018年6月79日 週末版 2018年6月79日 週末版 2018年6月79日 週末版 2018年6月79日 週末版 2018年6月79日 週末版 2018年6月71日 ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機 2018年6月71日 ノーロ機投資家の対外資金フロー動向(2018年5月分) 2018年6月1日 日本の大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大		
本邦個人投資家の対外資金フロ一動向(2018年6月分) 2018年7月17日 貿易戦争態念と為替市場の現状〜一部市場に異変も〜 2018年7月17日		
2018年7月17日 貿易戦争態念と為替市場の現状~一部市場に異変も~ 2018年7月13日 週末版(「新興国市場の混乱」と「炭鉱のカナリア」~米国のクレジットスブレッドは着実に拡大中~) 2018年7月19日 混迷を深めてきた英国のEU離脱プロセス~論点整理~ 2018年7月9日 米中開戦の時~欧州も巻き込み貿易大戦の様相か?~ 2018年7月6日 温末版 2018年7月5日 ECBを待ち受ける険路~「試練の秋」~ 2018年7月5日 ECBを待ち受ける険路~「試練の秋」~ 2018年7月5日 ECBを待ち受ける険路~「試練の秋」~ 2018年7月3日 ヒいが迎える新たな危機~債務危機から難民危機へ 2018年7月3日 田・中貿易摩擦の読み方~「返り血」は避けたい米国~ 2018年7月3日 国末版 2018年6月29日 週末版 2018年6月29日 週末版 2018年6月29日 週末版 2018年6月27日 メーシナリオへのリスク点検~再び先鋭化した保護主義~ 2018年6月21日 ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機 2018年6月21日 ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機 2018年6月11日 コーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機 2018年6月11日 温末版 2018年6月11日 温末版 2018年6月11日 国本版を登するすり中立会利との距離窓「~分水強~ 2018年6月11日 国本版・医の主教・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・	20.07//110日	
2018年7月13日   週末版(「新興国市場の混乱」と「炭鉱のカナリア」〜米国のクレジットスブレッドは着実に拡大中〜) 2018年7月19日   ドイツ住宅市場の現状と展望〜見通ごされる「バブルの芽」〜 2018年7月9日   米中開戦の時〜欧州も巻き込み貿易大戦の様相か?〜 2018年7月9日   米中開戦の時〜欧州も巻き込み貿易大戦の様相か?〜 2018年7月6日   週末版   2018年7月5日   ECBを待ち受ける険路〜「試練の秋」〜 2018年7月4日   EUが迎える新たな危機〜債務危機から難民危機へ 2018年7月3日   米中貿易厚摩物の読み方〜「返り血」は避けたい米国〜 2018年7月3日   米中貿易厚摩物の読み方〜「返り血」は避けたい米国〜 2018年6月2日   週末版   2018年6月2日   週末版   2018年6月2日   週末版   2018年6月2日   月2日   2018年6月2日   月2日   2018年6月2日   またも生き残ったメイ英首相〜EU離脱法案の成立〜 2018年6月2日   またも生き残ったメイ英首相〜EU離脱法案の成立〜 2018年6月2日   ユーロ圏共通予算を阻むシルケル政権の危機   2018年6月2日   ユーロ圏共通予算を阻むシルケル政権の危機   2018年6月1日   ユーロ圏共通予算を阻むシルケル政権の危機   2018年6月1日   カーロ機と0」への警告〜米国とイタリアの挟撃〜 本邦圏人投資家の対対資立フロー動向(2018年6月)   日本・総に(CB政策理事会を終えて〜「APPはタカ派」、「利上げはハト派」の折衷案〜) 2018年6月1日   週末版(CB政策理事会を終えて〜「APPはタカ派」、「利上げはハト派」の折衷案〜) 2018年6月1日   フバメラスス高値「125.86円」から3周年   2018年6月1日   アベメラスス高値「125.86円」から3周年   2018年6月1日   フィススス高値「125.86円」から3周年   2018年6月8日   週末版(外国人労働者の受け入れ拡大について〜成長を望むなら〜) 2018年6月6日   三要な景気先行指標の現状〜世界経済の失速は富力に〜 2018年6月6日   三要な景気先行指標の現状〜世界経済の失速は富力に〜 2018年6月6日   日の版グリア、スペイン経由南米行き?〜) 2018年6月1日   週末版(グリア、ため、ア・このままでは済まず〜 2018年6月1日   週末版(グリア、ため、ア・このままでは済まず〜 2018年6月1日   週末版(グリア、ため、ア・このままでは済まず〜 2018年6月1日   週末版(グリア、スペイン経由南米行き?〜)	2018年7月17日	
2018年7月10日   混迷を深めてきた英国のEU離脱プロセス〜論点整理〜   2018年7月6日   出来版   出来版   出来版   全日   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	2018年7月13日	週末版(「新興国市場の混乱」と「炭鉱のカナリア」〜米国のクレジットスプレッドは着実に拡大中〜)
2018年7月9日   米中開戦の時~欧州も巻き込み貿易大戦の様相か?~   2018年7月6日   週末版   2018年7月5日   ECBを待ち受ける険路~「試練の秋」~   2018年7月4日   EUが迎える新たな危機~債務危機から難民危機へ   2018年7月3日   米中貿易摩擦の読み方~「返り血」は避けたい米国~   2018年7月2日   2018年上半期を終えて~予測の王道は変わらず~   2018年6月29日   週末版   2018年6月29日   週末版   2018年6月29日   週末版   2018年6月29日   週末版   2018年6月29日   週末版   2018年6月21日   ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機   2018年6月21日   ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機   2018年6月21日   ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機   2018年6月21日   ユーロ機提のJへの警告~米国とイタリアの挟撃~   本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年5月分)   2018年6月19日   改めて整理する「中立金利との距離感」~分水積~   2018年6月19日   改めて整理する「中立金利との距離感」~7水積~   2018年6月13日   現末版 (CCB政策理事会を終えて~「APPはタカ派」、「利上げはハト派」の折衷案~)   2018年6月14日   FOMCを終えて~「後ろめたさ」を抱きつつの運営に~   2018年6月13日   来朝首脳会談~市場の関心は「非核化完了」の「協議決裂」~   2018年6月13日   アベノミクス高値「125.86円」から3周年   2018年6月1日   FOMCプレビュー~テーマは「中立金利との距離感」~   2018年6月1日   日本版(外国人労働者の受け入れ拡大について~成長を望むなら~)   2018年6月6日   ECB政策理事会プレビュー~イタリア危機を越えて~   2018年6月6日   ECB政策理事会プレビュー~イタリア危機を越えて~   2018年6月5日   銀末版(外国人労働者の受け入れ拡大について~成長を望むなら~)   2018年6月5日   銀末版(外国人労働者の受け入れ拡大について~成長を望むなら~)   2018年6月5日   銀末版(外国人労働者の受け入れ拡大について~成長を望むなら~)   2018年6月5日   銀末版(外国人労働者の受け入れ拡大について~成長を望むなら~)   2018年6月5日   銀末版(外国人労働者の受け入れ拡大について~成長を望むなら~)   2018年6月5日   銀末版(オロア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・		
2018年7月5日   週末版		
2018年7月5日   ECBを待ち受ける険路~「試練の秋」~   2018年7月4日   EUが迎える新たな危機~債務危機から難民危機へ   2018年7月3日   米中貿易摩擦の読み方~「返り血」は避けたい米国~   2018年7月2日   2018年上半期を終えて~予測の王道は変わらず~   2018年6月29日   週末版   2018年6月29日   週末版   2018年6月26日   またも生き残ったメイ英首相~EU離脱法案の成立~   2018年6月26日   遺末版   2018年6月27日   ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機   2018年6月27日   ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機   2018年6月27日   ユーロの機20」への警告~米国とイタリアの挟撃~   本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年5月5日   2018年6月19日   改めて整理する「中立金利との距離感」~分水債~   2018年6月19日   改めて整理する「中立金利との距離感」~分水債~   2018年6月15日   週末版(ECB政策理事会を終えて~「APPはタカ派」、「利上げはハト派」の折衷案~)   2018年6月13日   米朝首脳会談~「後ろめたさ」を抱きつつの運営に~   2018年6月13日   アベニラス高値「125.86円」から3周年   2018年6月12日   アベニラス高値「125.86円」から3周年   2018年6月13日   アベニラス高値「125.86円」から3周年   2018年6月1日   ECBの策理事会がしていて~成長を望むなら~)   2018年6月6日   主要な景気先行指標の現状~世界経済の失速は露わに~   2018年6月6日   ECBの策理事会プレビュー~イタリア危機を越えて~   2018年6月6日   ECBの策理事会プレビュー~イタリア危機を起えて~   2018年6月5日   対リア危機は去ったのか?~このままでは済まず~   2018年6月4日   難明になった「G6+1」の構図   2018年6月4日   難用になった「G6+1」の構図   2018年6月4日   難用になった「G6+1」の構図   2018年6月4日   難用になった「G6+1」の構図   2018年6月4日   2018年6月4日   週末版(イタリア、スペイン懸念は波及するのか~イタリア発スペイン経由南米行き?~)		
2018年7月4日   EUが迎える新たな危機~債務危機から難民危機へ   2018年7月3日   米中貿易摩擦の読み方~「返り血」は避けたい米国~   2018年6月29日   週末版   2018年6月27日   メインシナリオへのリスク点検~再び先鋭化した保護主義~   2018年6月27日   メインシナリオへのリスク点検~再び先鋭化した保護主義~   2018年6月27日   メインシナリオへのリスク点検~再び先鋭化した保護主義~   2018年6月26日   またも生き残ったメイ英首相~EU離脱法案の成立~   2018年6月21日   ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機   2018年6月21日   ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機   2018年6月20日   「ユーロ危機20」への警告~米国とイタリアの挟撃~   本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年5月分)   2018年6月19日   改めて整理する「中立金利との距離感」~分水嶺~   2018年6月19日   改めて整理する「中立金利との距離感」~分水嶺~   2018年6月14日   FOMCを終えて~「APPはタカ派」、「利上げはハト派」の折衷案~)   2018年6月13日   米朝首脳会談~市場の関心は「非核化完了」の「協議決裂」~   2018年6月12日   アベノミクス高値「125.86円」から3周年   2018年6月11日   FOMCプレビュー~テーマは「中立金利との距離感」~   2018年6月1日   EOB政策理事会プレビュー~イタリア危機を超えて~   2018年6月6日   ECB政策理事会プレビュー~イタリア危機を超えて~   2018年6月6日   ECB政策理事会プレビュー~イタリア危機を超えて~   2018年6月6日   銀用になった「G6+1」の構図   2018年6月1日   週末版(イタリア、スペイン懸念は波及するのか~イタリア発スペイン経由南米行き?~)		
2018年7月3日 米中貿易摩擦の読み方~「返り血」は避けたい米国~ 2018年6月29日 2018年6月29日 週末版 2018年6月27日 メインシナリオへのリスク点検~再び先鋭化した保護主義~ 2018年6月26日 またも生き残ったメイ英首相~EU離脱法案の成立~ 2018年6月27日 週末版 2018年6月21日 ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機 2018年6月21日 ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機 2018年6月10日 「ユーロ危機20」への警告~米国とイタリアの挟撃~ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年5月分) 2018年6月19日 改めて整理する「中立金利との距離感」~分水嶺~ 2018年6月19日 改めて整理する「中立金利との距離感」~分水嶺~ 2018年6月19日 フィークを機20」への変響を参考を表て~「APPはタカ派」、「利上げはハト派」の折衷案~) 2018年6月19日 フィークを表しの正離感」~分水嶺~ 2018年6月18日 週末版(CGB政策理事会を終えて~「APPはタカ派」、「利上げはハト派」の折衷案~) 2018年6月18日 アベノミクス高値「125.86円」から3周年 2018年6月19日 アベノミクス高値「125.86円」から3周年 2018年6月1日 FOMCプレビュー~テーマは「中立金利との距離感」~ 2018年6月1日 EOMCプレビュー~テーマは「中立金利との距離感」~ 2018年6月5日 日主要な景気先行指標の現状~世界経済の失遠は露わに~ 2018年6月6日 EOB政策理事会プレビュー~イタリア危機を越えて~ 2018年6月6日 EOB政策理事会プレビュー~イタリア危機を越えて~ 2018年6月1日 鍋用になった「G6+1」の構図 2018年6月1日 鍋用になった「G6+1」の構図 2018年6月1日 週末版(イタリア、スペイン懸念は波及するのか~イタリア発スペイン経由南米行き?~)		
2018年6月29日 週末版 2018年6月27日 メインシナリオへのリスク点検~再び先鋭化した保護主義~ 2018年6月26日 またも生き残ったメイ英首相~EU離脱法案の成立~ 2018年6月27日 週末版 2018年6月27日 コーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機 2018年6月27日 コーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機 2018年6月27日 コーロ機と30,への警告~米国とイタリアの挟撃~ 本邦個人投資家の対外資金フロ一動向(2018年5月分) 2018年6月19日 改めて整理する「中立金利との距離感」〜分水嶺〜 2018年6月15日 週末版(ECB政策理事会を終えて~「APPはタカ派」、「利上げはハト派」の折衷案~) 2018年6月14日 FOMCを終えて~「後ろめたさ」を抱きつつの運営に~ 2018年6月13日 米朝首脳会談~「格及の場では「非核化完了」の「協議決裂」~ 2018年6月12日 アベノミクス高値「125.86円」から3周年 2018年6月13日 FOMCプレビュー~テーマは「中立金利との距離感」〜 2018年6月11日 FOMCプレビュー~テーマは「中立金利との距離感」~ 2018年6月1日 ECB政策理事会プレビューペイタリア危機を超えて~ 2018年6月6日 ECB政策理事会プレビュー~イタリア危機を超えて~ 2018年6月6日 ECB政策理事会プレビュー~イタリア危機を超えて~ 2018年6月1日 難明になった「G6+1」の構図 2018年6月1日 週末版(外旬イワリア、スペイン懸念は波及するのか~イタリア発スペイン経由南米行き?~)		米中貿易摩擦の読み方~「返り血」は避けたい米国~
2018年6月27日 メインシナリオへのリスク点検~再び先鋭化した保護主義~ 2018年6月26日 またも生き残ったメイ英首相~EU離脱法案の成立~ 2018年6月22日 週末版 2018年6月21日 ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機 2018年6月20日 「ユーロ危機20」への警告~米国とイタリアの挟撃~ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年5月分) 2018年6月19日 改めて整理する「中立金利との距離感」~分水嶺~ 2018年6月15日 週末版(ECB政策理事会を終えて~「APPはタカ派」、「利上げはハト派」の折衷案~) 2018年6月15日 米朝首脳会談~市場の関心は「非核化完了」の「協議決裂」~ 2018年6月13日 米朝首脳会談~市場の関心は「非核化完了」の「協議決裂」~ 2018年6月11日 アベノミクス高値「125.86円」から3周年 2018年6月11日 FOMCプレビュー~テーマは「中立金利との距離感」~ 2018年6月11日 ESBのデルイン・エー・デーマルは、アイン・アイン・アーマルは、アイン・アースは、アイン・アーマルは、アイン・		-   -   -   -   -   -   -   -   -   -
2018年6月26日   またも生き残ったメイ英首相~EU離脱法案の成立~  2018年6月22日   週末版   2018年6月21日   ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機   2018年6月20日   「ユーロ機2.0」への警告~米国とイタリアの挟撃~  本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年5月分)   2018年6月19日   改めて整理する「中立金利との距離感」~分水儀~  2018年6月19日   2018年6月19日   週末版(CCB政策理事会を終えて~「APPはタカ派」、「利上げはハト派」の折衷案~)   2018年6月14日   FOMCを終えて~「後ろめたさ」を抱きつつの運営に~  2018年6月13日   米朝首脳会談~市場の関心は「非核化完了」or「協議決裂」~  2018年6月13日   アベノミクス高値「125.86円」から3周年   2018年6月11日   FOMCプレビュー~テーマは「中立金利との距離感」~  2018年6月11日   ED級プレビュー~テーマは「中立金利との距離感」~  2018年6月8日   週末版(外国人労働者の受け入れ拡大について~成長を望むなら~)   2018年6月6日   EDB政策理事会プレビュー~イタリア危機を越えて~  2018年6月6日   ECB政策理事会プレビュー~イタリア危機を越えて~  2018年6月5日   対明になった「G6+1」の構図   2018年6月5日   銀用になった「G6+1」の構図   2018年6月1日   週末版(イタリア、スペイン懸念は波及するのか~イタリア発スペイン経由南米行き?~)		
2018年6月22日 週末版		
2018年6月21日		
2018年6月20日		
2018年6月19日   改めて整理する「中立金利との距離感」〜分水嶺〜   2018年6月15日   週末版(CCB政策理事会を終えて〜「APPはタカ派」、「利上げはハト派」の折衷案〜)   2018年6月14日   FOMCを終えて〜「後ろめたさ」を抱きつつの運営に〜   2018年6月13日   米朝首脳会談〜市場の関心は「非核化完了」っ「協議決裂」〜   2018年6月12日   アベノミノス高値「125.86円」から3周年   2018年6月12日   アベノミノス高値「125.86円」から3周年   2018年6月11日   FOMCプレビュー〜テーマは「中立金利との距離感」〜   2018年6月8日   週末版(外国人労働者の受け入れ拡大について〜成長を望むなら〜)   2018年6月6日   主要な景気先行指標の現状〜世界経済の失速は露わに〜   2018年6月6日   ECB政策理事会プレビュー〜イタリア危機を越えて〜   2018年6月5日   イタリア危機は去ったのか?〜このままでは済まず〜   2018年6月4日   鮮明になった「G6+1」の構図   2018年6月1日   週末版(イタリア、スペイン懸念は波及するのか〜イタリア発スペイン経由南米行き?〜)		
2018年6月15日   週末版(ECB政策理事会を終えて~「APPIはタカ派」、「利上げはハト派」の折衷案~)		
2018年6月14日 FOMCを終えて~「後ろめたさ」を抱きつつの運営に~ 2018年6月13日 米朝首脳会談~市場の関心は「非核化完了」or「協議決裂」~ 2018年6月12日 アベノミクス高値「125.86円」から3周年 2018年6月11日 FOMCプレビュー~テーマは「中立金利との距離感」~ 2018年6月1日		
2018年6月13日 米朝首脳会談~市場の関心は「非核化完了」or「協議決裂」~ 2018年6月12日 アベノミクス高値「125.86円」から3周年 2018年6月11日 FOMCプレビュー~テーマは「中立金利との距離感」~ 2018年6月8日 週末版(外国人労働者の受け入れ拡大について~成長を望むなら~) 2018年6月7日 主要な景気先行指標の現状~世界経済の失速は露わに~ 2018年6月6日 ECB政策理事会プレビュー~イタリア危機を越えて~ 2018年6月5日 イタリア危機は去ったのか?~このままでは済まず~ 2018年6月4日 鮮明になった「G6+1」の構図 2018年6月1日 週末版(イタリア、スペイン懸念は波及するのか~イタリア発スペイン経由南米行き?~)		
2018年6月12日 アベノミクス高値「125.86円」から3周年 2018年6月11日 FOMCプレビュー〜テーマは「中立金利との距離感」〜 2018年6月8日 週末版(外国人労働者の受け入れ拡大について〜成長を望むなら〜) 2018年6月7日 主要な景気先行指標の現状〜世界経済の失速は露わに〜 2018年6月6日 ECB政策理事会プレビュー〜イタリア危機を越えて〜 2018年6月5日 イタリア危機は去ったのか?〜このままでは済まず〜 2018年6月5日 鮮明になった「G6+1」の構図 2018年6月1日 週末版(イタリア、スペイン懸念は波及するのか〜イタリア発スペイン経由南米行き?〜)		
2018年6月11日 FOMCプレビュー〜テーマは「中立金利との距離感」〜 2018年6月8日 週末版(外国人労働者の受け入れ拡大について〜成長を望むなら〜) 2018年6月7日 主要な景気先行指標の現状〜世界経済の失速は露わに〜 2018年6月6日 ECB政策理事会プレビュー〜イタリア危機を越えて〜 2018年6月5日 イタリア危機は去ったのか?〜このままでは済まず〜 2018年6月4日 鮮明になった「G6+1」の構図 2018年6月1日 週末版(イタリア、スペイン懸念は波及するのか〜イタリア発スペイン経由南米行き?〜)		
2018年6月8日 週末版(外国人労働者の受け入れ拡大について~成長を望むなら~) 2018年6月7日 主要な景気先行指標の現状~世界経済の失速は露わに~ 2018年6月6日 ECB政策理事会プレビュー~イタリア危機を越えて~ 2018年6月5日 イタリア危機は去ったのか?~このままでは済まず~ 2018年6月4日 鮮明になった「G6+1」の構図 2018年6月1日 週末版(イタリア、スペイン懸念は波及するのか~イタリア発スペイン経由南米行き?~)		
2018年6月7日 主要な景気先行指標の現状〜世界経済の失速は露わに〜 2018年6月6日 ECB政策理事会プレビュー〜イタリア危機を越えて〜 2018年6月5日 イタリア危機は去ったのか?〜このままでは済まず〜 2018年6月4日 鮮明になった「G6+1」の構図 2018年6月1日 週末版(イタリア、スペイン懸念は波及するのか〜イタリア発スペイン経由南米行き?〜)	2018年6月8日	週末版(外国人労働者の受け入れ拡大について~成長を望むなら~)
2018年6月5日 イタリア危機は去ったのか?~このままでは済まず~ 2018年6月4日 鮮明になった「G6+1」の構図 2018年6月1日 週末版(イタリア、スペイン懸念は波及するのか~イタリア発スペイン経由南米行き?~)		主要な景気先行指標の現状~世界経済の失速は露わに~
2018年6月4日 鮮明になった「G6+1」の構図 2018年6月1日 週末版(イタリア、スペイン懸念は波及するのか~イタリア発スペイン経由南米行き?~)		
	2018年6月4日	鮮明になった「G6+1」の構図
2016年5月30日   1/年末の本邦対外資産・具領状沈~安全通貨・円」の本領~		
	2018年5月30日	1/千不の今か対外負性・負債状況~女王通貝・円」の本領~